

PM学会四国支部 2024年6月度研究会記録

日時：2024年6月12日(水) 13:30~14:30

開催方法：オンライン開催(香川大学様より配信)

主催：プロジェクトマネジメント学会四国支部

共催：香川大学創造工学部

後援：特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

講師：山中 隆史氏 (香川大学 創造工学部 教授)

講演：「クラスの「心理的安全性」を高めるための教員チームの取り組み」

出席者：19名

内容：ビジネス現場でも注目を集めている「心理的安全性」。心理的安全性の高い組織は、コミュニケーションが促進され、生産性向上や人材の定着率向上にも繋がるとされています。「自らの意見を積極的に述べ合う授業」に向けた香川大学創造工学部の教員チームの取り組みと成果を紹介します。なお、本取り組みは、心理的安全性づくりに取り組むチーム・組織を讃えるアワード「心理的安全性 AWARD2023」において、最高位のプラチナリングを受賞しています。

講演後は、質疑応答が行われ、心理的安全性を高めるリーダーの言動の一つ「境界を設けメンバーに責任を負わせる」の“境界”に関する質問があり、山中隆史氏から「リーダーが決めたものではなく、メンバーとリーダーが協議し、そこで合意したポイント」などの確なご回答をいただきました。

The screenshot shows a Zoom meeting window. At the top, a status bar indicates "このミーティングはレコーディングされています" (This meeting is being recorded) and "OK". The main content area displays a presentation slide titled "心理的安全性を高めるリーダーの言動①" (Leader's actions to improve psychological safety ①). The slide lists several bullet points: "直接話しの出来る、親しみやすい人になる" (Become someone you can talk to directly and who is easy to get along with), "現在持っている知識の限界を認める" (Acknowledge the limits of the knowledge you currently have), "自分もよく間違っことを積極的に示す" (Actively show that you also make mistakes), "参加を促す" (Encourage participation), "失敗は学習する機会であることを強調する" (Emphasize that failure is an opportunity to learn), "具体的な言葉を使う" (Use specific words), and "境界を設けメンバーに責任を負わせる" (Set boundaries and assign responsibility to members). Below the slide, the source is noted as "出所:「チームが機能するとはどういうことか」(エイミー・C・エドモントン)". On the right side of the meeting window, a grid of participant thumbnails is visible, including "事務局" (Secretariat), "山中 (サブ+チャット)", "STNet Kawaguchi", "MURAI", "STNet 水口 則明", "STNet 富本 靖彦", "大久保 (中央コ...", "STNet 吉永 好美", "藤田 一洋", "STNet 酒井 周次", "STNet 山下和宏", "STNet 山内 理恵", "久米 洋介 (STNet)", "佐藤 勇", "STNet 柏原丈二", "STNet/石井貴一郎", and "【発言不可】STNet...". At the bottom of the window, the Windows taskbar shows the search bar, system tray with temperature (27°C), and date/time (14:25, 2024/06/12).